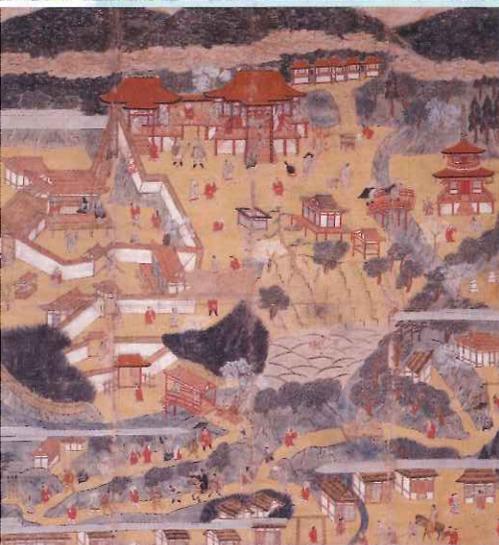
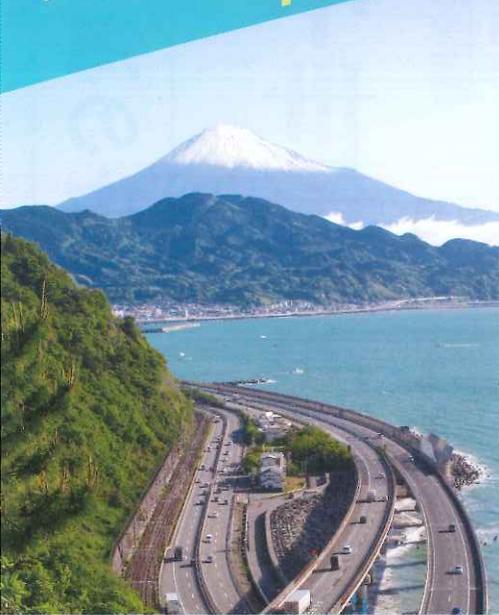


2024年6月
刊行開始!



上:薩埵峠(静岡市清水区)/下:東観音寺参詣曼荼羅(古境内図)

企画編集委員

山田邦明・水野智之・谷口雄太
(愛知大学文学部) (中部大学人文学部) (青山学院大学文学部)

東海の中世史

全5巻



全巻申込受付中!
お申込は最寄りの書店、または直接小社営業部まで

定価各2970円 (10%税込) 四六判・上製・カバー装・平均240頁・原色口絵4頁



装幀:清水良洋

伊勢湾や太平洋をのぞみ、畿内と東国の中継地点であった東海。その地域的な個性に注目しつつ、信長・秀吉・家康らを輩出するにいたる歴史的特色を持つ中世を鮮やかに描く。進展著しい研究成果をふまえ、最適な執筆陣がわかりやすく叙述。武家や公家、寺社、宗教、荘園、交通など、多様な角度から、これまでにない新たな東海の中世史像に迫る。

① 中世東海の黎明と鎌倉幕府

生駒孝臣編
978-4-642-06891-8

第2回配本 / 7月発売

② 足利一門と動乱の東海

谷口雄太編
978-4-642-06892-5

第3回配本 / 8月発売

③ 室町幕府と東海の守護

杉山一弥編
978-4-642-06893-2

第4回配本 / 9月発売

④ 戦国争乱と東海の大名

水野智之編
978-4-642-06894-9

最終回配本 / 10月発売

⑤ 信長・家康と激動の東海

山田邦明編
978-4-642-06895-6

※掲載画像はいずれも本書より



吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷7-2-8 [URL] <https://www.yoshikawa-k.co.jp/>
電話 03-3813-9151 (代表) / FAX.03-3812-3544

列島の東西をつないだ東海の中世史
あたらしい中世史像を描く
新シリーズ!

吉川弘文館

注文書

『東海の中世史』全5巻を()セット)注文します。

第()巻を()冊)注文します。

お名前 _____ TEL _____

ご住所 〒 _____

●吉川弘文館 特約書店名



※内容は変更の場合もございます。予めご了承ください。

1 中世東海の黎明と鎌倉幕府

生駒孝臣編

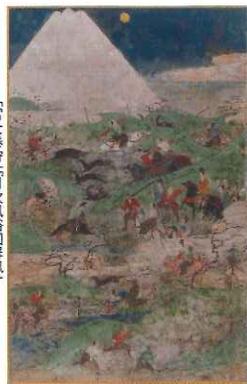
(花園大学文学部)

白河院政が始動すると、河内源氏ら京武者が進出し、東西の往還路として東海の地位が上昇。内乱を経て鎌倉幕府により東海の秩序が再編されるまでを、御家人の動向、発展する陸海運・寺社・荘園制の実態と併せて描く。

主な内容

- 序 中世東海へのまなざし…… **生駒孝臣**
- 一 院政期の源氏・平氏と東海の武士団
「京武者」の東海への進出
源義朝と東海の武士団
平家政権と東海の武士団
生駒孝臣
- 二 治承・寿永の内乱と東海 勅使河原拓也
内乱の勃発と東海地域の諸勢力
頼朝軍の上洛
義経の挙兵と内乱の終結
頼朝上洛と御家人制の確立
大島佳代
- 三 東海の御家人と公武政権…… **熊谷隆之**
鎌倉幕府開創期の東海の御家人
承久の乱と東海の御家人
承久の乱後の政争と東海の御家人
モンゴル襲来と東海の御家人

- コラム 美濃国の大豆戸…… **長谷健生**
— 承久の乱合戦の地
- コラム 伊豆と北条氏…… **田辺 旬**
- 四 東海の荘園制…… **前田英之**
東海における荘園制の始まり
東海の伊勢神宮領
美濃国・尾張国の荘園制
三河国・遠江国・駿河国の荘園制
鎌倉幕府の成立と東海の荘園制
- コラム 伊賀国黒田荘…… **永野弘明**
- コラム 伊勢神宮領…… **朝比奈 新**
- 五 中世寺社の胎動…… **小原嘉記**
東海道交通と地方寺社
国衙と寺社
鎌倉幕府と寺社



富士巻狩二月次風俗図屏風

2 足利一門と動乱の東海

谷口雄太編

(青山学院大学文学部)

蒙古襲来、鎌倉幕府滅亡、南北朝内乱と、動乱の渦に東海も巻き込まれていく。三河を地盤に覇権を握った足利氏のほか、北畠・土岐・今川氏とその支配地域の動向を詳述。東海一帯に影響力を及ぼした寺社勢力にも説き及ぶ。

主な内容

- 序 鎌倉後期～南北朝期の東海 **谷口雄太**
— 東海中世史への招待
- 一 足利氏と三河地域…… **谷口雄太**
足利氏と北条氏
足利氏と一門の時代
分裂する足利一族と室町幕府の再生
- 二 伊勢地域と北畠氏…… **大藪 海**
鎌倉時代伊勢国の支配体制
南北朝時代伊勢国の動乱
伊勢国司北畠氏の成立
南北朝の合一と北畠氏

- 三 土岐氏と濃尾地域…… **山田 徹**
美濃の名門、土岐氏
足利尊氏と土岐頼貞
土岐頼康の登場
観応の擾乱と頼康
有力大名として
康暦の政変、その後
- 四 駿遠地域と今川氏…… **堀川康史**
黎明期の今川氏
南北朝内乱と今川氏の駿遠進出
駿遠・京都・鎌倉の今川氏
今川了俊の栄光と挫折
- 五 東海地域と顕密仏教…… **小池勝也**
— 三寶院流の展開を中心に
東海地域と三寶院流
三寶院流の東漸—伊豆国と三寶院流
聖教群の形成と法流—尾張・三河両国と三寶院流
密教と神祇信仰—伊勢神宮と三寶院流
鎌倉・南北朝期の顕密仏教界とその展開

- 六 東海地域と禪宗…… **斎藤夏来**
東海禅をみつけどす
異朝名匠と山林有名道人
東海の諸山と山林有名道人
- コラム 宗良親王と康仁親王の墓 **赤坂恒明**
- コラム 丸子地名と宿・道…… **鈴木沙織**
- 六 東海地域と禪宗…… **斎藤夏来**
東海禅をみつけどす
異朝名匠と山林有名道人
東海の諸山と山林有名道人
- コラム 伊豆の温泉と信仰…… **柘植信行**

3 室町幕府と東海の守護

杉山一弥編

(駒澤大学文学部)

足利將軍は、京都と鎌倉を結ぶ政治経済の動脈として東海諸国を重視した。東海各国の守護・奉公衆・国人の具体的な動向に加え、荘園や山岳信仰、窯業、自然災害など、室町期東海の地域的な特徴を詳しく取り上げる。

主な内容

- 序 室町時代の東海をひも解く **杉山一弥**
- 一 駿河・遠江の守護・奉公衆 国人 **杉山一弥**
駿河守護今川氏の定着
駿河守護今川氏の展開
遠江守護斯波氏の推移
- 二 三河・尾張の守護・奉公衆 国人 **西島太郎**
三河守護一色氏と海上支配
三河・尾張の奉公衆
尾張守護斯波氏
三河と尾張の庇仁・文明の乱
- 三 美濃・伊勢の守護・奉公衆 国人 **木下 聡**
美濃・伊勢の守護・奉公衆
土岐氏と美濃支配
伊勢の状況
周辺国の動向

- 四 東海の荘園と経済…… **岡野友彦**
東海地方における寺社本所一円領・武家領体制
室町期東海の伊勢神宮領
室町期東海の中世都市
- 五 東海の神祇と信仰…… **山田雄司**
伊勢信仰
熱田信仰
白山信仰
富士信仰

- 六 東海の生業と流通…… **高橋菜月**
東海地方の陶器生産
東海産陶器の流通状況
十五世紀における東海の窯業生産の管掌者
- 七 東海の災害・環境と交通路 **榎原雅治**
室町時代の南海トラフ巨大地震
繰り返される南海トラフ巨大地震
中世東海地域の自然環境と交通
- コラム 大宮司富士氏と富士山信仰…… **山本智子**
- コラム 美濃紙…… **古田憲司**
- コラム 三嶋層—室町期の意味 **奥村徹也**



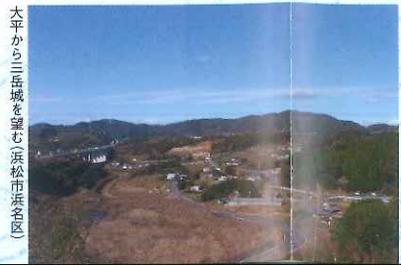
源頼朝の墓(愛知県美浜町)



今井世五輪塔



熱田神宮拝殿



大平から三岳城を望む(浜松市名区)



太平記絵巻第七巻



主な内容

序 鎌倉後期～南北朝期の東海 谷口雄太
 一 足利氏と三河地域…………… 谷口雄太
 足利氏と一門の時代
 分裂する足利一族と室町幕府の再生
 コラム 熱田大宮司家と將軍家 伊藤信吉
 乱世の大宮司
 二 伊勢地域と北畠氏…………… 大藪 海
 鎌倉時代伊勢国の支配体制
 南北朝時代伊勢国の動乱
 伊勢国司北畠氏の成立
 南北朝の合一と北畠氏
 コラム 宗良親王と康仁親王の墓 赤坂恒明

三 土岐氏と濃尾地域…………… 山田 徹
 美濃の名門・土岐氏
 足利尊氏と土岐頼貞
 土岐頼康の登場
 観応の擾乱と頼康
 有力大名として
 康暦の政変とその後
 四 駿遠地域と今川氏…………… 堀川康史
 黎明期の今川氏
 南北朝内乱と今川氏の駿遠進出
 駿遠・京都・鎌倉の今川氏
 今川了俊の栄光と挫折
 コラム 丸子地名と宿・道…………… 鈴木沙織

五 東海地域と顕密仏教…………… 小池勝也
 一 三寶院流の展開を中心に
 東海地域と三寶院流
 三寶院流の東漸―伊豆国と三寶院流
 聖教群の形成と法流―尾張・三河両国と三寶院流
 密教と神祇信仰―伊勢神宮と三寶院流
 鎌倉・南北朝期の顕密仏教界とその展開
 六 東海地域と禪宗…………… 斎藤夏来
 東海禅をみつけた
 異朝名匠と山林有名道人
 東海の諸山と山林有名道人
 コラム 伊豆の温泉と信仰…………… 柘植信行

3 室町幕府と東海の守護

杉山一弥編

足利將軍は、京都と鎌倉を結ぶ政治経済の動脈として東海諸国を重視した。東海各国の守護・奉公衆・国人の具体的な動向に加え、莊園や山岳信仰、窯業、自然災害など、室町期東海の地域的な特徴を詳しく取り上げる。

主な内容

序 室町時代の東海をひも解く 杉山一弥
 一 駿河・遠江の守護・奉公衆・国人 杉山一弥
 駿河守護今川氏の定着
 遠江守護今川氏の展開
 遠江守護斯波氏の推移
 二 三河・尾張の守護・奉公衆・国人 西島太郎
 三河守護一色氏と海上支配
 三河・尾張の奉公衆
 尾張守護斯波氏
 三河と尾張の庇仁・文明の乱
 三 美濃・伊勢の守護・奉公衆・国人 木下 聡
 土岐氏と美濃支配
 伊勢の状況
 周辺国の動向

四 東海の荘園と経済…………… 熊崎 司
 東海地方における寺社本所一円領・武家領体制
 室町期東海の伊勢神宮領
 室町期東海の中世都市
 五 東海の神祇と信仰…………… 山田雄司
 伊勢信仰
 熱田信仰
 白山信仰
 富士信仰
 コラム 江馬氏と江馬氏城館跡 三好清超
 伊勢国司北畠氏の館と文化…………… 岡野友彦

六 東海の生業と流通…………… 高橋菜月
 東海地方の陶器生産
 東海産陶器の流通状況
 十五世紀における東海の窯業生産の管掌者
 コラム 美濃紙…………… 古田憲司
 七 東海の災害・環境と交通路…………… 榎原雅治
 室町時代の南海トラフ巨大地震
 繰り返される南海トラフ巨大地震
 中世東海地域の自然環境と交通
 コラム 三嶋層―室町期の意味 奥村徹也

4 戦国争乱と東海の大名

水野智之編

(中部大学人文学部)

主な内容

序 戦国期の東海地域…………… 水野智之
 一 東海成立の諸前提
 一 戦国期の尾張…………… 水野智之
 一 斯波・織田・水野氏の動向
 明応～永正年間の尾張
 大永・享禄年間の尾張
 天文～永禄初期の尾張
 二 戦国期の美濃・飛騨…………… 石川美咲
 一 斎藤氏四代と周辺勢力
 長井新左衛門尉・斎藤道三の下剋上
 斎藤義龍・龍興の外交と家臣団編成
 周辺勢力からみた斎藤氏
 三 戦国期の三河…………… 小林輝久彦
 一 松平・戸田氏と吉良氏の動向
 明応～永正年間の三河
 大永～天文初期の三河
 天文中期～永禄初期の三河

四 戦国期の駿河・遠江・伊豆…………… 鈴木将典
 今川氏の戦国大名化
 戦国大名伊勢・北条氏と伊豆・駿河
 戦国大名今川氏と駿河・遠江
 今川義元の駿河・遠江支配
 五 戦国期の伊勢国・伊賀国・志摩国…………… 太田光俊
 伊勢国桑名郡・員弁郡・朝明郡・三重郡を行く
 伊勢国鈴鹿郡・河曲郡・奄芸郡・安濃郡を行く
 伊勢国一志郡・飯野郡・飯高郡・度会郡と志摩国
 一 探の世界―伊賀国と伊勢国小俣
 六 戦国期東海地域の宗教勢力…………… 安藤 弥
 一 宗教勢力の戦国時代
 東海各地における新仏教勢力の展開状況
 顕密寺社の衰退・存続
 躍動する宗教勢力―織豊時代・近世へ

七 戦国期東海地域の武家文芸…………… 尾下成敏
 一 鄙の武家領主と文芸
 今川分国の武家文壇
 三河・尾張・伊勢・美濃四カ国の武家文壇
 和歌・連歌以外の文芸と武士
 コラム 將軍偏諱の授与にみる…………… 小久保嘉紀
 アイデンティティ
 コラム 和歌俳諧にみる歌枕へのまなざし…………… 上嶋康裕
 一 美濃国不破の関を例に
 コラム 戦国期地域社会の戦乱と安穩…………… 服部光真
 一 三河普門寺の三界万霊供養
 コラム 多度神宮寺と長島一向一揆…………… 石神教親

5 信長・家康と激動の東海

山田邦明編

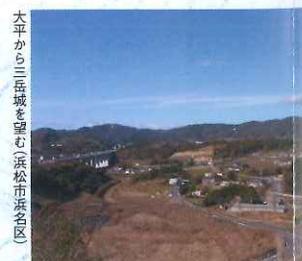
(愛知大学文学部)

主な内容

序 戦国・織豊から近世へ…………… 山田邦明
 一 織田・徳川・今川・武田…………… 山田邦明
 今川氏真と松平元康・家康
 織田信長と一色龍興
 徳川家康と武田信玄
 織田信長と長島門徒
 信長・家康と武田勝頼
 コラム 古戦場に暮らす人々…………… 湯浅大司
 織田政権と徳川家康
 本能寺の変から小牧・長久手合戦へ
 豊臣大名織田・徳川両家
 三 豊臣の世から徳川の世へ…………… 平野仁也
 秀吉の天下統一と諸大名の移封
 朝鮮出兵と秀次事件
 関ヶ原の合戦と東海の諸将

四 織田・豊臣期の村落…………… 谷口 央
 織田信長の時代の土地所持事情と年貢 諸役
 豊臣秀吉の時代の土地所持事情と年貢 諸役
 五 東海の都市と交通環境…………… 山下智也
 東海道と宿・市場
 東海諸領主の交通政策
 伝馬制度とその展開
 豊臣期の交通と近世東海道の成立
 六 海の世界と人々の活動…………… 小川 雄
 戦国大名領国と東海地域の海の世界
 統一政権下における東海地域の海の世界
 七 東海の神社と人々の活動…………… 羽柴亜弥
 領主と神社
 神社の社人組織の衝突と確立

コラム 東海以西の富士山信仰と…………… 大高康正
 参詣曼荼羅…………… 小林 郁
 コラム 神宮御師…………… 加藤理文
 八 東海の城とその展開……………
 徳川家康の三河・遠江諸城の改修
 秀吉の家康討伐計画と家康の駿府城移転
 天正十八年体制の東海地域の城郭



五から三邑城を望む七浜松市名区



『天正記繪巻第七巻』



北畠氏駿遠領国(津市美杉町)



江馬氏駿遠領所・庭園(飛騨市神岡町)

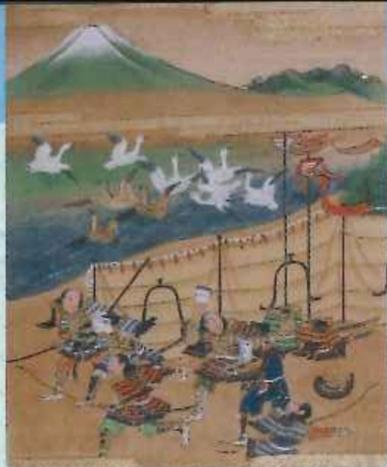


古瀬戸後期



細川成之

本シリーズの 特色



「富士川事」「奈良絵本平家物語」



三重・岐阜・愛知・静岡の4県（旧10国：伊勢・志摩・伊賀・美濃・飛騨・尾張・三河・遠江・駿河・伊豆）を対象に、院政期から織豊期までの歴史を描く、これまでにない新しい中世史。



戦国時代、なぜ「東海」から天下人（織田信長・羽柴〈豊臣〉秀吉・徳川家康）が3人も出たのか。その背景にある地理的な個性に注目しつつ豊かな文化・経済基盤に迫る！



常滑甕



東と西を結ぶ結節点として、東海の陸運・海運に着目。伊勢国安濃津・遠江国元島遺跡などの交通の要衝に触れ、列島規模の陶磁器流通や、瀬戸焼・常滑焼の生産も解説。



安濃津



足利一門である今川氏や、土岐氏・北畠氏などが、南北朝・室町時代を席卷していた実態を浮かび上がらせ、列島の中世史に新たな風を吹き込む！



「足利殿御上洛事」太平記絵巻



富士浅間社・熱田神宮・伊勢神宮などの神社、密教や浄土真宗、禅宗などの仏教寺院を取り上げ、その信仰世界を描く。広大な土地を領有したり、一揆を主導するなど、寺社が勢力を誇ったことにも言及。



富士山本宮浅間大社



東海地域の歴史叙述に相応しい執筆陣が、最新の研究成果を豊富な図版とともに詳細・平易に記述。近年話題のテーマをコラムで補完し、巻末に本文理解を深める関連年表を付す。



織田敏定

刊行のことは

「東海」、それは東の海、伊勢湾や太平洋をのぞみ、古代より行政区画として、道として、今もなお東と西をつなぐ重要地域として存在しています。同時に、壬申の乱、青野原合戦、関ヶ原合戦など、文字どおり天下分け目の戦いが繰り返されてきました。そうしたなかで、戦国時代に織田信長・羽柴（豊臣）秀吉・徳川家康といった天下人が登場したことはよく知られていることでしょう。では、なぜ東海から天下人が生み出されたのでしょうか。また、それ以前の時代にもこの三人に匹敵する人物は東海地域から現れていたのでしょうか。

本シリーズは、東海という地域的な個性に注目しつつ、同時にそこが列島の東西のあいだという歴史的な特色を持つことにも留意しながら、中世史を描いていくことを目指すものです。そのさい、執筆者には、近年大幅に進展した中世史の研究成果を積極的に導入・紹介すること、そして、武家だけではなく、公家・寺社、宗教・荘園や陸海の交通・流通など、多種多様な角度から地域史を描くことをお願いしました。これにより、従来にない、新たな東海の中世史像に迫る試みとなっていれば、編者としてこれにまさる喜びはありません。

なお、本シリーズが対象とする地域は三重・岐阜・愛知・静岡の各県、旧国名でいえば、伊勢・志摩・伊賀・美濃・飛騨・尾張・三河・遠江・駿河・伊豆といった国々となります。

〈企画編集委員〉

山田邦明
水野智之
谷口雄太